

## 素材生産動向（概要） — 令和4年6月見通し —

令和4年6月17日  
北海道森林管理局  
（担当：資源活用第一課）

## 調査対象事業体数

	事業体数 (A)	調査対象数 (B)	回答数 (C)	回答率 (C)/(B)	該当する(総合)振興局
全道	572	237	180	76%	
札幌地区	120	52	47	90%	石狩、空知、胆振、日高
旭川地区	122	57	40	70%	上川、留萌、宗谷
北見地区	86	34	30	88%	オホーツク
帯広地区	160	55	32	58%	十勝、釧路、根室
函館地区	84	39	31	79%	渡島、檜山、後志

（注）事業体数(A)は、北海道林業事業体登録制度に基づき登録された林業事業体のうち、素材生産事業を実施している者。  
調査対象数(B)は、アンケート調査の結果により実質的に素材生産事業を行っていない者等を除いた数。

## 【6月の素材生産動向（概要）に対するコメント】

- 「1.素材生産量」では、5月実績の161.0千m<sup>3</sup>と比べ、6月見通しは14.9千m<sup>3</sup>増の175.9千m<sup>3</sup>となっています。  
前月実績と比較すると、札幌、旭川、帯広地区で増える見通しとなっています。
- 「2.素材生産量の増減」の比率では「増える」が36%、「変わらない」が37%、「減る」が27%となっております。
- 「3.素材生産動向」の全般的な動きでは、「順調」が36%、「並み」が55%、「不調」が9%で、DIIは昨年3月から継続してプラスの値を示しています。  
樹材種別に見ると引き続き一般材が並み、それ以外の樹材種はすべて順調の見通しとなっています。
- 「4.素材生産動向の事由」は「通常の変動」以外では、増の事由として昨年4月から引き続き「丸太注文の増加」が多く、次に「生産性向上」が多くなっています。  
減の事由では昨年4月から引き続き「労働力不足」が多く、次に「事業地不足」が多くなっています。

## 1. 素材生産量

(単位：千m<sup>3</sup>)

区分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
素材生産量	[167.0] 161.0	175.9	14.9	[36.0] 34.0	47.1	13.1	[30.6] 28.7	30.3	1.6	[41.1] 40.5	39.2	-1.3	[31.6] 25.1	28.8	3.7	[27.7] 32.7	30.5	-2.2

（注）前月数量の、上段【 】書きは前月見通し、下段は調査回答のあった事業体の実績を記載。

## 2. 素材生産量の増減

(単位：%)

区分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
増える	31	36	5	24	43	19	33	32	-1	34	43	9	32	47	15	33	13	-20
変わらない	36	37	1	41	34	-7	41	45	4	35	20	-15	37	34	-3	24	52	28
減る	33	27	-6	35	23	-12	26	23	-3	31	37	6	31	19	-12	43	35	-8



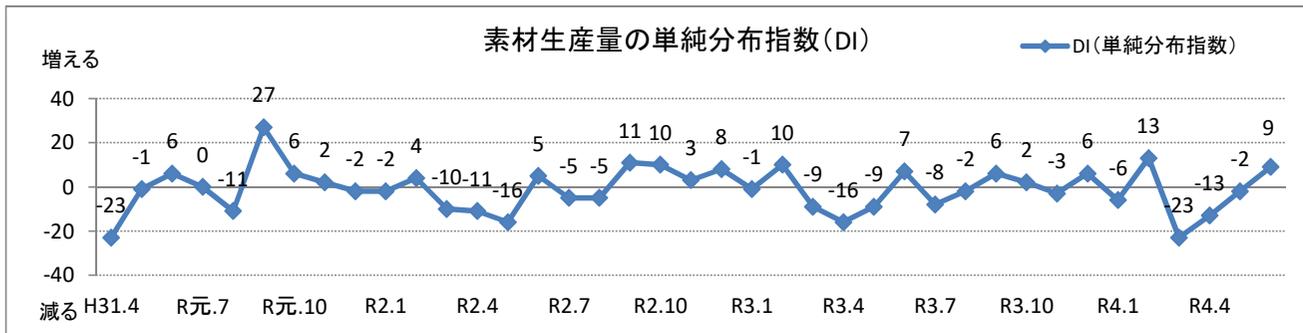
4. 素材生産動向の事由

(単位：回答数)

	丸太注文の増加	時間外など稼働率向上	体制充実	生産性の向上	通常の変動	その他		
数量の増	15	1	6	9	56	1		
	丸太注文の減少	事業地不足	労働力不足	運材車不足	機械の故障等不測の事態	天候不順	通常の変動	その他
数量の減	1	8	9	0	0	2	35	6

(注) 該当するものについて複数回答

(参考)



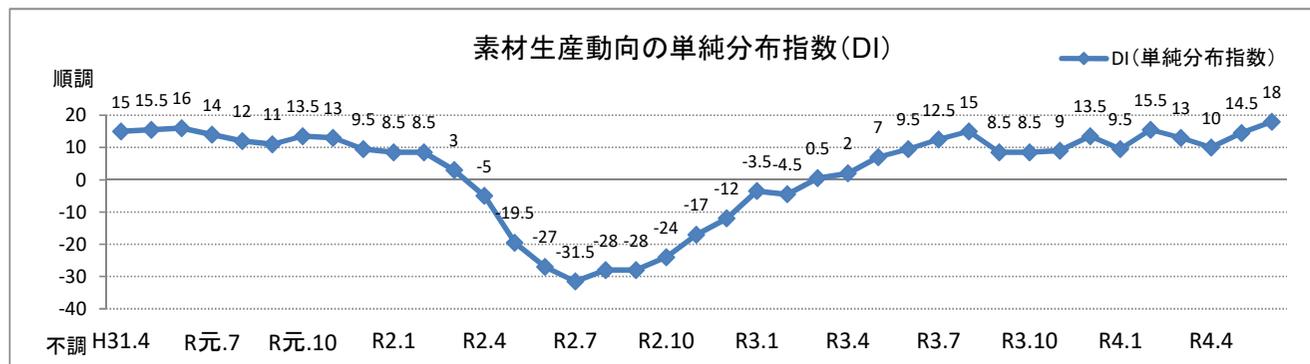
令和4年6月

区分	有効回答数	構成百分率
増える	65	36%
変わらない	67	37%
減る	48	27%
合計	180	100%

素材生産量の単純分布指数 (DI)  
= 36% - 27%

有効回答数とは、前月との比較が可能な事業体数

※「素材生産量の単純分布指数 (DI)」とは  
アンケート調査の回答においてプラス (増える) 見通しとマイナス (減る) 見通しの事業体のバランスの変化を捉えるためのものです。



令和4年6月

区分	有効回答数	構成百分率
極めて順調	12	9%
やや順調	36	27%
並み	72	55%
やや不調	12	9%
極めて不調	0	0%
合計	132	100%

素材生産動向の単純分布指数 (DI)  
= 9% +  $\frac{27\%}{2}$  - ( $\frac{9\%}{2}$  + 0%)

有効回答数とは、前月との比較が可能な事業体数

※「素材生産動向の単純分布指数 (DI)」とは  
アンケート調査の回答においてプラス (極めて順調、やや順調) の選択肢とマイナス (やや不調、極めて不調) の選択肢を選んだ事業体のバランスの変化を捉えるためのものです。

【国有林からのお知らせ】

【令和4年5月期販売結果及び令和4年6月期販売について】

○令和4年度（立木の部）

（単位：㎡ 円/㎡）

地区別	署別	5月期立木販売(公売)結果						6月期立木販売(公売)		
		【主伐】			【間伐】			主伐 間伐別	数量	入札日
		公売数量	落札数量	単価	公売数量	落札数量	単価			
札幌	石狩				9,508	4,930	4,680	主・間	7,302	6/23
	空知							主・間	32,585	6/21
	胆振東部									
	日高北部									
	日高南部				1,561	1,561	5,062			
旭川	北空知				597	359	450	主・間	988	6/23
	留萌北部									
	留萌南部							主	1,121	6/16
	上川北部									
	宗谷							主・間	11,317	6/30
	上川中部							主・間	8,357	6/24
	上川南部							主・間	6,326	6/27
北見	網走西部							間	5,490	6/17
	西紋別									
	網走中部							主・間	23,876	6/15
	網走南部							主・間	11,074	6/24
帯広	根釧西部				20,710	20,710	3,606	間	20,882	6/21
	根釧東部							主・間	7,350	6/23
	十勝東部							主・間	9,431	6/23
	十勝西部									
	東大雪									
函館	後志									
	檜山									
	渡島									
計		0	0	32,376	27,560			146,099		

○令和4年度（素材の部）

（単位：㎡）

地区別	署別	5月期(委託)		6月期 入札 予定
		素材委託 販売結果	入札日	
札幌	石狩	2,142		20日 (金)
	空知			
	胆振東部	2,553		
	日高北部	3,636		
	日高南部			
旭川	北空知			24日 (火)
	留萌北部	2,375		
	留萌南部	201		
	上川北部			
	宗谷			
	上川中部	316		
	上川南部	3,027		
北見	網走西部	2,674		18日 (水)
	西紋別			
	網走中部	1,088		
	網走南部	6,244		
帯広	根釧西部	7,527		24日 (火)
	根釧東部	1,059		
	十勝東部	7,884		
	十勝西部	2,151		
	東大雪	6,173		
函館	後志			23日 (月)
	檜山			
	渡島	1,195		
計		50,245		

※上記詳細については、北海道森林管理局ホームページ「国有林野産物の公売公告及び結果（立木の部・素材の部）」をご覧ください。

（立木の部）アドレス：[http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood\\_ryuuboku/index2022.html](http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood_ryuuboku/index2022.html)

（素材の部）アドレス：[https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood\\_soza/2022.html](https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood_soza/2022.html)

※森林管理署等が執行する林産物の売払契約の一般競争入札に参加するためには、資格を得ていただく必要があります。

北海道森林管理局ホームページ、「競争参加有資格者（林産物の売払）に係る諸手続」をご覧ください。

アドレス：<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/hanbai1/apply/publicsale/koubai/sankasikaku/index.html>